

うるま

市議会 だより

第29号

平成24年(2012)
発行 9月1日



暑い中をみんな一生懸命がんばったキッズトライアスロン (第4回沖縄キッズトライアスロン大会 in うるま)

一般質問 (6月定例会)

6月定例会には28名の議員が市政全般について一般質問を行いました。本紙面は、「市議会だより」申し合わせ事項により掲載されています。

誌面の都合上、簡潔な表現になっております。

なお、詳しい内容については市議会会議録を自治公民館、市内図書館、議会事務局、議会ホームページをご覧ください。

目次

一般質問	2
第68回5月臨時会議決結果	16
第69回6月定例会議決結果	16
第70回7月臨時会議決結果	16

■発行：うるま市議会 ■編集：議会広報編集調査特別委員会

住所 〒 904-2292 うるま市みどり町1-1-1 電話 098-973-3511 FAX 098-973-8123



一 自習室について
 二 一括交付金（沖縄振興特別推進市町村交付金）について
 三 基地問題について
 四 統合庁舎問題について

田中直次



一 中部北環境施設組合と栄野比自治会との協定書について
 二 県議選挙について
 三 県道8号線について
 四 鉄軌道導入について

名嘉山隆

一 自習室について

質問 新しく生涯学習センターができるが、自習室、学習室の計画あるいはプラン等は。

答弁 照屋教育部長 来年度建築予定の生涯学習センターにおいては自習室の配置も計画をしている。

二 一括交付金（沖縄振興特別推進市町村交付金）について

質問 私が提案した15事業。この（市の）69事業あるいは18事業の中に入っているか。入っていればどういう事業で、可能性がある事業は。

答弁 当問企画部長 今回、補正計上した18事業の中には人材育成に関する事業や観光振興に関する事業が多く、市議団（日本共産党）から提案された事業要望の趣旨に合致する事業も含まれている。

三 基地問題について

質問 東日本大震災の時に、米軍がつくった冊子。スーパーマンはアメリカ。（日本人）は江戸時代の以前のちよんまげをした日本人。抗議すべき。

答弁 当問企画部長 日米の高校生達の感性が待とスーパーマンとして表現された作品で、日米の高校生達の表現方法の一つとして理解している。

質問 復帰以降40年間で米軍に起因する決断件数は。一番多い市町村は。

答弁 当問企画部長 沖縄県議会と県内41市町村議会が可決した決議及

び意見書の総数は四六八一件。一番多い市町村はうるま市が合併前の四市町で四三八件。

質問 強襲揚陸艦ボノム・リシャールはオスプレイが搭載出来るか。

答弁 当問企画部長 飛行甲板改良はオスプレイ対応との報道なので、強襲揚陸艦ボノム・リシャールへのオスプレイ搭載は可能。

質問 マクトリアスを返還して、うるま市の地域経済の活性化に資するべき。

答弁 島袋市長 キャンプ・マクリアスの返還について、地権者の意向等も伺い、慎重な対応をする必要がある。

四 統合庁舎問題について

質問 新市建設計画での庁舎建設が既存公共施設の整備事業に内包されている。この変更について、その状況にに応じて対応していくという答弁であったが。

答弁 山口総務部参事 必要に応じて対応していくという形で答弁している。新市建設計画を含む合併協定書について、基本的に遵守すべきと考えている。

質問 合併特例債の活用は担保されているのかという事には、総務省は個別の事案について回答しないという立場。特例債の活用について、県からうるま市に報告があったか。

答弁 山口総務部参事 六月六日以降に県の方から何ら報告はない。

一 中部北環境施設組合と栄野比自治会との協定書について

質問 最終的な協定書で決定された項目は。

答弁 登川市民部長 協定書は全11条である。

質問 協定書の内容については、全て完了したのか。また区内道路、排水溝等整備は継続として考えて良いのか伺う。

答弁 登川市民部長 協定書の内容はおおむね完了していると認識している。生活環境整備は、年次的に整備して行く事を自治会に対して回答しており、今後も対応されるものと理解している。

二 県議選挙について

質問 今回の県議選の中でも公約に掲げて当選をした議員も公式サッカースタジアム推進や誘致は、うるま市に必要であると考えている。知事や県議の公約、市民もそう願っている。後は市長自らスポーツコンベンションという大きいビジョンの中へ具体的に政策として取り入れてはどうか伺う。

答弁 当問企画部長 県ではサッカー複合型スタジアムの整備に向けた基本構想を策定することであり、今後これらの動向を踏まえ誘致についても調査研究に取り組んで行きた

三 県道8号線について

質問 県道8号線の延長について伺う。

答弁 久田建設部長 県道8号線の国道329号バイパスまでの延伸を含めた未整備区間である字西原から栄野比間の整備に向けて関係機関と調整を行い、早期の事業化に向けて県に要請をしていきたい。

質問 栄野比三叉路の信号機の設置について伺う。

答弁 久田建設部長 市民からの要望・要請等があれば自治会へ要請をする様、ご指導の程お願いしたい。

四 鉄軌道導入について

質問 東西線のあり方について伺う。

答弁 当問企画部長 本市を含む本島東海岸地域と西海岸地域とを鉄軌道で結ぶ、議員ご提言の東西線については、現時点での実現性は未知数であるが、現状の沖縄本島内に於ける観光客の誘致状況や道路整備等の交通基盤に関する、東西格差を踏まえると非常にユニークなアイデアではないかと感じている。東西線については、軽量軌道鉄道（LRT）等による代替手段での実施や関係市町村との意見交換なども含め今後の検討課題とする。



- 一 障がい者福祉について
- 二 市営住宅について
- 三 消防行政について
- 四 防災対策について
- 五 雇用対策について

なかもと 辰雄

一 障がい者福祉について
質問 親亡き後の障がい者支援制度の現状。

答弁 根路銘福祉部長 成年後見制度、福祉サービスの利用の仕方や金銭の取り扱い、管理を自分の判断で適切に行うことが困難な場合に支援する日常生活自立支援事業。安心して地域で暮らすためのグループホームやケアアホームなど生活のできる場、悩みやトラブル、制度の疑問について相談支援をする相談支援事業所。終身にわたり一定額の年金を支給する心身障害者扶養共済制度。親亡き後の不安の軽減を図るよう適切な対応をしていきたい。

質問 地域の中で気軽に相談できる支援センターは必要。

答弁 根路銘福祉部長 気軽に相談支援ができる体制の確立を図っていきたい。

二 市営住宅について

質問 民間のアパートを改修して、住宅困窮世帯に低家賃で住宅供給を目指す、国のセーフティネット住宅整備事業の情報を提供する考えはないか。

答弁 久田建設部長 新しい制度であり内容を検討する必要がある。

三 消防行政について

質問 災害時に優れた機動力を発揮し、初期消火活動や情報収集に大きな効果が期待される消防バイクの必要性を伺う。

答弁 照屋消防長 消防施設の必要性は理解している。

質問 整備の可能性は。
答弁 照屋消防長 将来に向けた課題研究。

四 防災対策について

質問 原子力潜水艦事故時は屋内退避だが、気密性の高いアルミサッシを設置している住宅では、防災無線が聞こえづらく、情報を得ることができなくなる。その対応として、一括交付金で屋内受信機整備ができないか。

答弁 喜納総務部長 屋内受信機は非常に有効であるが、整備・維持管理コストを総合的に勘案した場合、適切に管理することが困難である。

五 雇用対策について

質問 失業率の上昇をどう考えるか。
答弁 上間経済部参事 本市にとつて非常事態であると同時に産業全般にわたり対策を講じていく必要がある。

質問 緊急雇用対策会議の内容。

答弁 上間経済部参事 失業率改善に向けた具体的なプランを県と策定プロジェクトチームを設置し、具体的な施策を策定。関係団体連絡調整会議を開催し、取り組みを市内外に呼びかけていく予定。

質問 失業率改善で重要な視点は、働く場の確保である。

答弁 上間経済部参事 これまでも増し就業の受け皿となる産業の創出、優良企業の確保、求職活動の支援など可能な対策を全般的に講じていく。



- 一 鉄軌道計画と石川地区交通センター構想の現状について
- 二 一括交付金の使途について
- 三 公園等の管理について

まつだ 久男

一 鉄軌道計画と石川地区交通センター構想の現状について

質問 県の考え方や現状について市当局はどう考えているか。うるま市は人口も多く鉄軌道ルートは県民優先でなければならぬと考える。どのようにしてうるま市に利益があるような誘導をしていくのか伺う。

答弁 当間企画部長 県は長期的なスパンで取り組むとしている。内閣府で設定されたルートはうるま市側のAルートと西海岸側のBルート案があるが、市としてもうるま市経由のルート実現に向けた取り組みを強化したい。

質問 石川地区交通センター構想について現状を伺う。

答弁 当間企画部長 県は用地確保や交通需要予測等の検証を行うとしているので、市も県と連携し事業実施に向けた検討見直しを行っている。

質問 鉄軌道構想や一括交付金というように条件が変化している。石川インターチェンジは、高速バスや鉄軌道などの重要な結末点となる。今こそもう一回鉄軌道を含めて模索すべきと考えるが所見を伺う。

答弁 当間企画部長 一括交付金や

鉄軌道なども含めて県にしっかりと伝えたい。実現性は高いのではないかと考える。

二 一括交付金の使途について

質問 全体の見通しと、以前に私が提案した市民の森公園整備、石川球場の黒土改修、諮詢会跡整備、空手大学構想事業について伺う。

答弁 当間企画部長 県及び内閣府と事前協議を終えた事業から順次補正予算を提案する。

石川野球場についてはスポーツコンベンション推進プロジェクトに位置付け国や県と協議をしている。諮詢会跡についても協議中であり一括交付金活用に向けて取り組みたい。市民の森公園と空手大学について現在具体的整備計画等は無い。

三 公園等の管理について

質問 住宅地の公園でホームレス風の人が集まり酒を飲んだりして迷惑であるとの相談があるが、どのような対処法があるか。

答弁 瀬高都計部長 定期的巡回や退去の指導を行っている。

答弁 久田建設部長 市営団地に関しては指定管理者と自治会、警察と相談して対応していきたい。



一 具志川幼稚園玄関前通路の大雨時の冠水対策に関する事項について
二 具志川小学校裏門から市道2175号線までの間(街路港原線の一部)のスクールゾーン設置と通学路歩道設置工事に関する事項について
三 津堅島農道4090号線(JA勝連野菜等出荷場進入路)の舗装整備に関する事項について
四 与那城照間地区の下水道整備と照間23番地の浸水に関する事項について
五 うるま市総合計画後期基本計画及びうるま市観光振興ビジョンに関する事項について

金城 勝正

一 具志川幼稚園玄関前通路の大雨時の冠水対策に関する事項について

質問 早めの対策をお願いしたい。

答弁 久田建設部長 幼稚園児や児童の安全確保の面から今年の夏休みを利用して、抜本的な対策を講じる予定。

二 具志川小学校裏門から市道2175号線までの間(街路港原線の一部)のスクールゾーン設置と通学路歩道設置工事に関する事項について

質問 一日も早い対応をお願いしたい。

答弁 登川市民部長 スクールゾーンの表記については、平成24年度は予算確保がなく、平成25年度には計上したい旨を学校長には伝え理解を得たとの事。

質問 一日も早い改善をお願いしたい。

答弁 登川市民部長 スクールゾーンの表記については、調整がつけば早めに対処していきたい。

答弁 久田建設部長 通学路歩道設置については、今年度において都市計画課が策定する道路整備プログラム計画の中で位置付けをする事になるので、今後この結果を見ながら補助事業が対応出来るか検討していきたいと考えている。

三 津堅島農道4090号線(JA勝連野菜等出荷場進入路)の舗装整備に関する事項について

質問 この農道整備について、これまで津堅自治会からも整備要請があったと思うが、対応方を伺う。

答弁 島袋経済部長 市単独事業で

のアスファルト舗装による整備は厳しいものと考えているが、今年度実施する予定となっている農業体質強化基盤整備事業を活用して整備が可能か検討したい。

四 与那城照間地区の下水道整備と照間23番地の浸水に関する事項について

質問 ①下水道整備方針について伺う。

答弁 久田建設部長 当該地域も下水道整備を必要としている地域であると認識。多少時間を要するが、今後の事業認可区域内の整備状況を見ながら、当該地域の事業認可及び整備を検討していきたい。

質問 ②与那城照間232番地の浸水についての方針を伺う。

答弁 久田建設部長 当該周辺の改善整備をするには延長270m余りになり、多額の費用を要する事から要請書をもとに実施計画での事業化に向けて早期の要望をしたい。また6月19日の大雨でも道路や敷地内の冠水があり、事業化までの間は応急的な対策も検討したい。

五 うるま市総合計画後期基本計画及びうるま市観光振興ビジョンに関する事項について

質問 海中道路を中心とした総合的なビッグイベントの開催について伺う。

答弁 上間経済部長 あやはし館や、その周辺の海浜を活用した総合的なイベントを作り上げる事により、うるま市全体の観光ブランドとして広くアピール出来るかと考える。



一 与勝一周道路の整備について
二 与勝地域、島しょ地域の振興・活性化について

東浜 光雄

一 与勝一周道路の整備について

質問 与勝一周道路の整備は、本市の観光振興、地域活性化、物流拠点(中城湾港振興地区)への道路アクセス、本市の特性である風光明媚な豊かな自然を満喫しながら観光客を誘う道路のアクセスは大変重要と考えるが、整備をしていく考えはないか。

答弁 久田建設部長 与勝一周道路については、県道8号線の渋滞緩和、米軍ホワイトビーチにおける有事の際の避難道路として、また地域の活性化、世界遺産である勝連城跡が近接しており、観光振興に資する重要な道路であると考えている。

質問 現在、照間から海中道路入口(県道37号線)、海中道路入口から饒辺橋(港湾道路)、饒辺橋からホワイトビーチ入口(県道239号線)が港湾道路として整備されている現状にある。平敷屋ホワイトビーチ入口から南風原、南風原から中城湾港振興地区へつなぐ道路(南岸道路)を整備していく事で、これまで整備された道路が与勝一周道路として生かされ、観光振興、地域活性化に確実に繋がってくるかと考えるが。

答弁 久田建設部長 これまで事業化に向けて県に要請してきているが、

一部が提供施設である米軍ホワイトビーチ地区にある事。南岸部の土地利用の状況、費用対効果の課題があり、道路整備を必要とする優先順位が低く、事業化は時期尚早という事で事業化に至っていなかった。今回、与那城屋慶名港付近から平敷屋までの道路の供用開始を受けて、再度、県の方に与勝一周道路南岸部の事業化について確認したところ、平成24年度から25年度には事業化に向けた事前調査を行うと聞いている。市として県中部土木事務所や関係機関と事業化に向けて、協議・調整していきたいと考えている。

二 与勝地域、島しょ地域の振興・活性化に

質問 与勝、島しょ地域の振興・発展、活性化を図る施策の展開が必要不可欠と考えるが、当局の所見を伺う。

答弁 当間企画部長 世界遺産勝連城跡から海中道路、島しょ地域は、本市の観光振興で重要なエリアに位置付けてある。その方針に基づき様々な施策の展開をしていく。

※他に「沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)の活用」についても質問しました。



- 一 教育行政について
- 二 社会教育について
- 三 交通安全対策について
- 四 道路行政について
- 五 統合庁舎建設について

伊盛サチ子

一 教育行政について
質問 離島高校生の修学支援事業について。

答弁 仲田指導部長 国が今年度から実施する新規事業で高校のない離島出身の高校生の通学費や居住費を支援するため、一人15万円程度の補助金を支給する。

質問 津堅島が対象となっている。実施していく考えがあるのか何う。

答弁 仲田指導部長 9月補正へ計上予定。

質問 その補助額について何う。

答弁 仲田指導部長 一名あたり年額15万円を予定している。

二 社会教育について
質問 地区公民館の借用について、要領改正の現状は。

答弁 照屋教育部長 改正前は政党や政治団体が主催した市民対象の報告会や懇談会、講演会について不許可としていた。改正後は条件として選挙運動の禁止、政党への勧誘活動の禁止、機関誌、広報誌等の配布禁止、旗やスローガン等の掲示禁止など事前確認をするという事で条件つき許可とする。許可、不許可の判断は要領に基づいて判断する。

三 交通安全対策について

質問 学校施設周辺の通学路に係る白線表示の点検、歩道部分へのカラー舗装対応等について何う。

答弁 登川市民部長 必要箇所については、関係部署と調整の上、検討

していききたい。

質問 久田建設部長 ちゅうらさん運動の中で通学路の安全点検を実施していく予定。カラー舗装については地域から要請があれば関係部署と協議し、対応していききたい。

四 道路行政について
質問 江洲地区内、市道安志門線の交通事故防止対策の舗装整備について何う。

答弁 久田建設部長 今年度の9月補正で予算措置をお願いし、早い時期に対応していききたい。

五 統合庁舎建設について
質問 基本構想時の職員定数882名から見直しによつて814名に減った。水道庁舎は統合庁舎に加わらない、職員配置数の増減の変更は。

答弁 山口総務部参事 基本設計途中、現時点での入居する部署の配置見直し等により767名、一部庁議で決定をまだ行っていない部分が含まれている。

質問 決定を見ていない課とは。

答弁 山口総務部参事 教育委員会

の生涯学習振興課、文化課。

質問 基本構想時に入っていないが途中に入ってくる理由は。

答弁 山口総務部参事 教育委員会との調整や書類等決裁、本庁舎との事務連絡や伝票等の決済等、一部統合庁舎に入居したいとの希望があった。



- 一 「海から豚がやってきた」七人の
- 二 妊婦健康診査の内容について
- 三 母子生活支援施設について
- 四 放課後等デイサービスについて
- 五 緑化・美化運動推進について
- 六 通学路の安全対策について

比嘉敦子

一 「海から豚がやってきた」七人の勇士の石碑について
質問 「海から豚がやってきた」七人の勇士の石碑の建立について、建立場所の提供等、県に働きかけができないか。

答弁 当間企画部長 本市が顕彰碑の建立にふさわしいと考える。建立場所の依頼があれば関係部署と協議をし、前向きに検討する。

二 妊婦健康診査の内容について
質問 妊婦健康診査の内容について。

答弁 登川市民部長 国が示した標準内容の項目全てを公費補助で受けることができる。妊婦一人当たりの公費負担額は九万九千円。

質問 平成23年度出生数と自然死産数。

答弁 登川市民部長 出生数は一千三百八十六人。自然死産数は平成21年は二十件となっている。

三 母子生活支援施設について
質問 自立の最初の一步になる住居の確保、母子生活支援施設の考え方について。

答弁 根路銘福祉部長 市としても必要性を感じる。重要な課題の一つであり、うるま市地域福祉計画にも取り上げたところで、今年度作成の実施計画に要望を出していきたい。

四 放課後等デイサービスについて
質問 ①障害自立支援法から、児童福祉法に位置づけられたがどのよう

に変わっていくのか。②利用者の負担はいくらか。③放課後等デイサービスを行っている事業所は何ヶ所か④利用者数について。

答弁 根路銘福祉部長 ①未就学児は児童発達支援事業へ、就学児は放課後等デイサービス事業へ年齢でわけることになった。②利用料の一分割負担、上限は四千六百円で、非課税世帯は無料。③市内に六ヶ所ある。

④平成二十四年六月現在百五十六人。

五 緑化・美化運動推進について
質問 緑化・美化運動推進活動の散水施設についてと読谷村の花壇登録制度について。

答弁 島袋経済部長 道路施設等緑化事業で草花種苗等、各種肥料、土類、プランター類は支給対象だが、散水施設や水道料金については対象外。読谷村では、村の苗畑で育苗した花の苗を年三回無料で配布する制度で、団体においては水道料金の減免も行っている。

六 通学路の安全対策について
質問 通学路の安全対策について。

答弁 久田建設部長 毎年度の事業の中で優先的に通学路の危険対策をしていく。

答弁 仲田指導部長 今回の文部科学省調査は、各学校で安全点検を実施する。保護者や児童生徒の視点によるアンケート調査も検討していく。



一 市総合計画・後期基本計画について
 二 消防関係について
 三 経済関係について
 四 教育関係について

平 たいら
 正盛 まさもり

一 市総合計画・後期基本計画について
質問 ①島しょ地域振興の推進について。

答弁 上間経済部参事 観光ネットワークモデル事業実施により、島しょ地域の皆様が主体となった企業体の創設を図り、島の株式会社として、物販や拠点施設運営を行う事で1島1株式会社として具現化する事を想定。

質問 ②「中小企業振興基本条例」の制定について。

答弁 上間経済部参事 中小企業振興審議会を設置予定。それに伴い審議会の組織及び運営に関し、必要事項を定めた規則を制定、審議会委員の選定を行い、市中小企業振興審議会の体制づくりを行う予定。

質問 ③自治基本条例等について。

答弁 当間企画部長 自治基本条例は住民自治の観点から自治体運営の理念や原則、その為の制度や仕組みをルール化した自治体の最高規範とされている。市政への参画と協働のまちづくりを推進する為、協働意識の啓発と醸成に努めると共に、制定に向けた調査研究を行う。

二 消防関係について

質問 ホワイトビーチの原潜寄港等対策について。

答弁 照屋消防長 資機材の内訳は、災害現場付近の放射線測定機器として、サーベーター、個人被爆線

量計、除染に使用する消防ホースやエアートント等の購入を考えている。

三 経済関係について

質問 ①フアーマーズマーケットについて。

答弁 島袋経済部長 現在、沖縄振興特別推進交付金、いわゆる一括交付金を活用しての事業が出来ないのか、関係部署と調整している。

質問 ②遊休地解消の取扱いで、耕作放棄地解消に向けた支援はないか。

答弁 島袋経済部長 耕作放棄地再生事業を実施しているが、耕作放棄地を再生利用した場合に交付金が交付される。交付条件は(1)農振農用地区域である事。(2)5年以上耕作する事。(3)耕作面積は合計10アール(300坪)以上になる事などが条件。

四 教育関係について

質問 ①給食費の無料化で、名護市は在籍3人目以降(約350人)を対象に給食費が無料。本市では在籍者数が5人目以降(約100人)の小中学生を対象に免除が出来ないか。

答弁 仲田指導部長 現時点では、給食費は保護者負担と考えている。

質問 ②学校通学時バスの待合所の件について。

答弁 藏根指導部参事 島しょ地域小中学校統合準備協議会で、待合所設置要望があったが、スクールバスの待合所設置の事業効果、優先度を検討の結果、設置を見送っている。



一 市道行政について
 二 農政問題について

石川 いしかわ
 眞永 しんえい

一 市道行政について

質問 去る5月2日未明、2時間ほどの雷雨があり、市道東山本町新開地4号で冠水が発生、同市道の冠水原因と対策を伺う。

答弁 久田建設部長 東山本町の市道新開地4号線の冠水の原因は排水溝に草木等が詰まっている時に豪雨があり、それが原因で冠水したと考えている。排水溝は市道沿いにある企業の所有物で、敷地内のグラウンド等からの雨水処理を行うため企業が設置したものである。市道に隣接しており、道路雨水等も含めて処理されている現状である。排水溝は企業所有物であるが、道路雨水の排水処理も行っている事もあり、先日の冠水の対応として、市が排水溝の詰まった箇所を清掃を行ったところである。今後大雨時には、定期的に市が清掃等、管理をしていきたい。

質問 東山本町一帯の排水溝グレーチングの下に草木が茂っている。一例を挙げると、東山本町2丁目8番19号と同2丁目9番23号の間にある排水溝のグレーチングの下にガジュマルが根を張っている。その対応策について伺う。

答弁 久田建設部長 東山本町一帯の市道に草木が詰まった状態があるという事であれば市の方で対応していきたい。また2カ所のグレーチングの下にガジュマルが根を張っている事について、まだ現状把握していないが、そういう状況であれば、地域の自治会長を含めて現場を調査し、すぐ対応していきたい。

二 農政問題について

質問 市道68号線に隣接した前田土地改良区の排水溝が土砂等の堆積で排水不能の状況にある。平成23年2月議会で質問し、4月の対応で下流の方だけしか出来てなく、これは予算の都合上、どうしようもないという事であった。それから1年余過ぎているが、当局の対応を伺う。

答弁 島袋経済部長 昨年度、排水路下流から作業を実施していたが、作業途中で台風で被害が発生し、緊急を要する箇所に予算投入し、排水路上流の土砂浚渫をする抜本的な改善とまでに至らず、大変申し訳なく思っている。上流側部分については、出来るだけ早い時期に浚渫処置を行いたい。



- 一 津堅島におけるかんがい用水施設整備等、農業基盤整備事業の取組状況について
- 二 津堅島から出るゴミ処理の問題について
- 三 キャロット愛ランド公園の整備事業について
- 四 津堅島の一人暮らしの方々、お年寄りの方々の緊急通報システム等の設置について
- 五 津堅島の拠点港である平敷屋漁港のコミュニティバス、庁舎間連絡バスの運行について
- 六 県道73号線沿いの石川自動車商会前の交差点への信号設置について
- 七 海中道路入口、東側海岸沿いの悪臭問題について

佐久田 悟



- 一 沖縄振興策について
- 二 経済政策について
- 三 雇用対策及びキャリア教育について

中村 正人

一 津堅島におけるかんがい用水施設整備等、農業基盤整備事業の取組状況について

質問 老朽化したかんがい用水施設の整備状況を伺う。

答弁 島袋経済部長 施設の老朽化により貯水池の漏水が生じており、農業用水の確保が厳しい状況だった。が、県営かんがい排水事業で整備が進む。平敷屋漁港の25年度事業採択に向け作業に取り組んでいる。

質問 津堅島の耕作放棄地対策について伺う。

答弁 島袋経済部長 平成25年度までの予定である耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業を活用し、地元との協力を得て放棄地解消に努めている。

質問 津堅島から出るゴミ処理や不法投棄ごみの問題について、現状と市の取り組みについて伺う。

答弁 登川市民部長 環境課より職員やクリーン指導員を派遣し、ごみの分別指導や不法投棄に関する指導を実施しているが、今後、自治会から要望があれば、再度クリーン指導員や職員の派遣も検討していきたい。

質問 津堅島のごみ軽減に向けて小型焼却炉施設が出来ないか検討して活用して設置が出来ないか検討していく。

三 キャロット愛ランド公園の整備事業について
質問 キャロット愛ランド遊歩道や階段等の整備事業について伺う。
答弁 瀬高都市計画部長 財政当局と調整し早めに補修工事を実施し、利便性の向上に努める。
四 津堅島の一人暮らしの方々、お年寄りの

方々の緊急通報システム等の設置について

質問 津堅島の高齢者の方々の地域社会から隔離せず、地域で支え見守る独自のシステムが必要だと考えるが、市の考えを伺う。

答弁 根路銘福祉部長 関係機関と連携を取り、要援護システム等の活用を実施し、先進地の事例も参考にしている。

五 津堅島の拠点港である平敷屋漁港のコミュニティバス、庁舎間連絡バスの運行について
質問 平敷屋漁港からのコミュニティバスや庁舎間連絡バスが是非とも必要と考えるが。

答弁 当間企画部長 平成18年に策定した、うるま市コミュニティバス等運営事業計画の再検証等を行う。導入に向けた取り組みを実施する予定である。

六 県道73号線沿いの石川自動車商会前の交差点への信号設置について
質問 この交差点に早急に信号機設置が必要だと考えるが、これまでの状況を伺う。

答弁 登川市民部長 平成23年3月に県警交通規制課へ上申してあるが、早期に実現出来る様、継続して要望していく。

七 海中道路入口、東側海岸沿いの悪臭問題について
質問 海中道路観光推進の活性化や東海岸開発構想実現の為に、海中道路東側海岸沿いの悪臭問題対策を伺う。

答弁 久田建設部長 週一回一トンのEM活性液を投入、また排水路に流れ込む区域の下水道接続率を上げていく様、地域の方々にもお願いしていく。

一 沖縄振興策について

質問 うるま市関連事業について伺う。

答弁 当間企画部長 離島住民の移動コストを軽減する事業として、沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業、事業費が16億8千114万円あり、本市では津堅島が関連する。次に認可外保育施設の認可化促進事業及び保育の向上支援に要する事業として、待機児童対策特別事業10億695万円で、賃貸工場を整備する事業として24億123万円が特別自由貿易地域賃貸工場整備事業である。

ハード事業では勝連2152号線道路整備事業があり、その他16事業に対し、5億4千547万円で沖縄振興公共投資交付金がうるま市に充てられている。

二 経済政策について
質問 観光産業の平成24年度の目標と年度内数値事業内容について伺う。

答弁 上間経済部参事 うるま市観光ビジョンに基づいて平成23年度までの達成率は38%で、今年度は約13%の見込みで今年度終了時は約51%を予定している。課題として観光ルート・プランの設定・食の開発・観光関連の人材不足としてあげ、その課題の取組として一括交付金も活用し、戦略的観光資源創出事業やご当

地グルメ開発推進事業などを取り組み、県内及び観光客誘致を図る。
答弁 島袋経済部長 主な農産物の平成24年度出荷はサトウキビ2万1千トン、ゴーヤー59・2トン、インゲン47・5トン、オクラ80・3トン、ニンジン450トン、果樹についてマンゴー45・8トン、あまSUN45・5トン、みかん類24トンになる。水産物のモズクは8千527トンで県全体の45%になる。

三 雇用対策及びキャリア教育について
質問 所得の向上対策及び失業対策について伺う。

答弁 上間経済部参事 市町村所得ランキングは那覇が8千億円余り、うるま市は1千500億円。県内では4位である。対策としてうるま地域雇用人材育成事業、まちかどコクタクトセンター設置運営事業、それから直接的な失業対策事業等を行っていく。またキャリア教育は、ジョブシャドウイングをはじめ、インターンシップなどによる就業意識・職場教育の充実を図り、今後5年間の重要課題としてあげている。

答弁 仲田指導部長 学校教育におけるキャリア教育は仕事に関する勤労観や職業観を自ら形成、確立出来る様になる事を目標にしている。



兼本 光治

一 防犯灯設置について
 二 新宇堅橋付近の遊歩道安全対策について
 三 与那城伊計土地改良ため池補修工事について
 四 勝連南風原ふれあいパーク補修整備について

一 防犯灯設置について

質問 一括交付金に伴い、防犯灯設置事業が出来ないか、市当局に見解を伺う。

答弁 登川市民部長 一括交付金事業での執行については沖繩振興に資する事業、沖繩の地理的・自然的特性、その他の特殊事情に起因する事業が対象との趣旨であり、沖繩県だけに起因するものではないと考えられ、民間地域への防犯灯設置については現段階での一括交付金を活用しての対象事業としては、大変厳しいものがあると考ええる。

二 新宇堅橋付近の遊歩道安全対策について

質問 新宇堅橋付近の遊歩道に鎖を使っての安全対策が出来ないか。そこは梅雨の時期は水位が高く、河川と遊歩道の境目が狭く、安全面からも危険を感じる。河川水位と遊歩道の境目に安全面を考慮した支柱等を立て、鎖等で安全対策が出来ないか、河川での事故等を防ぐためにも一日も早く安全対策を取って頂きたいと考ええるが、市当局の見解を伺う。

答弁 久田建設部長 河川管理者である県中部土木事務所へ報告し、安全対策が出来ないものか確認したところ、早急に現場を確認して管理用道路の目的、緊急性、類似箇所を整

備状況を踏まえ、検討していきたいと聞いている。

三 与那城伊計土地改良ため池補修工事について

質問 このため池は老朽化が進み、雑草が生え、ため池の横壁を保護するゴムカバーもところどころ剥がれ水漏れがないか推測される。そこでため池の現状を確認して、どの様な対策を考えるか伺う。

答弁 島袋経済部長 ご指摘の貯水池については、26年余りが経過、老朽化が進み漏水が生じている。農業用水は農業にとって、欠かせないものである。将来的には農業用水確保の抜本的な対策を図る為、かんがい排水施設の再整備を検討したい。

四 勝連南風原ふれあいパーク補修整備について

質問 施設内が荒れ果てており、雨が降ると数日間使えない状況である。その件について市当局の見解を伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 議員ご指摘のとおり、排水機能が低下し、現在の状況に至ったと考えている。当面の対策としては現地調査を実施し、水たまり箇所の整地を行い、野球等の使用に支障がない様にしたい。また抜本的な改善については、財政当局と調整し、早めに対応していきたい。



大屋 政善

一 廃校後の小中学校跡利用について
 二 桃原漁港整備について

一 廃校後の小中学校跡利用について

質問 学校適正配置後期実施計画の進捗状況について伺う。

答弁 藏根指導部参事 今年度中に学校跡地・跡地利用基本方針を策定し、学校跡施設等の利活用についての方向性を示した上で、うるま市公共施設等あり方検討委員会に引き継ぎ、市全体の公共施設の有効活用の中で学校跡の校舎跡・跡地が効率的かつ効果的な跡利用になる様、また島しょ地域の振興につながる様に努めていきたい。

質問 危険校舎に対する方針はどの様になっているか。

答弁 照屋教育部長 今後、耐力度調査等の結果も踏まえ、老朽化の著しい建物は年度内に解体する予定である。

二 桃原漁港整備について

質問 廃校となった小中学校の校舎で、危険校舎と思われる学校ごとの校舎の数、また廃校になった学校用地のうち、借地の割合、筆数について、学校ごとに伺う。

答弁 照屋教育部長 危険建物と思われる校舎及び体育館は、旧伊計小中学校が3棟中1棟、旧宮城小学校が7棟中6棟、旧宮城中学校が7棟中4棟、旧桃原小学校が5棟中2棟、旧比嘉小学校が5棟中4棟、旧浜中学校が2棟中1棟となっており、ま

た学校用地の借地の割合と筆数は、旧桃原小学校が借地割合が37%で8筆、比嘉小学校が借地割合72%で15筆となっている。

質問 跡利用が決まるまでの間、全く利用されない廃校はどこが管理するのか。

答弁 照屋教育部長 教育委員会においては本年度中に建物の経年劣化の状態を調査し、健全建物と危険建物に分類し、危険建物については年度内で解体撤去を予定しており、廃校施設の整備と並行して行政財産の用途変更及び用途廃止等の整備を行い、来年度以降は跡利用が決まった施設は所管する部署へ、それ以外の財産については公有財産所管の管財当局へ移管したい。

三 漁業関係者から、部落の東側の漁港を完全に整備して、中型漁船の船着場として整備して欲しいとの要望があるが、当局の見解を伺う。

答弁 島袋経済部長 桃原漁港についても、他の漁港と同様に漁船の大型化が進んでおり、今後は比較的大型船の東側漁港への展開が求められているので、漁港整備長期計画に載せて整備が出来る様検討していきたい。



- 一 彩橋小中学校教育内容と進捗状況について
- 二 うるま市学校図書館の設備内容について
- 三 市内失業率改善について
- 四 市業務委託者の選定と採用の内容について
- 五 盛岡市との友好姉妹都市について

喜屋武 力

一 彩橋小中学校教育内容と進捗状況について

質問 生徒の学習や生活環境と先生方の学習指導の取組内容はどうか。

答弁 仲田指導部長 どの授業も均一が保たれており、開校3か月、順調に学校が動いているという感想である。

質問 P.T.Aや地域との連携について何う。

答弁 仲田指導部長 会長一名、副会長二名四委員会が組織され、地域担当教諭と共に各地域と連携を図っている。

質問 廃校となった学校の歴史資料室は考えているか。

答弁 蔵根指導部長 彩橋小中学校の体育館内にメモリアル展示室を併設する予定。

二 うるま市学校図書館の設備内容について

質問 市内全体の学校図書館のコンピュータ設備のオンライン化は可能か。

答弁 仲田指導部長 平成24年度実施計画で計画を進めている。

質問 学校図書館を充実させるための交付税は本市でどの様に活用されたのか。

答弁 仲田指導部長 全体の69%が学校図書購入費に、残り31%が一般財源化された。

質問 図書館の専門職員を三年位は特別職として臨時採用出来ないか。

答弁 仲田指導部長 本市の規則で任用期間が原則として6か月以内、特に必要がある場合に限り、6か月を超えない範囲内で更新する事が出来る。本市では6か月から約

1年という事で臨時職員の採用をしている。

質問 委託業務という方法ではどうか。

答弁 仲田指導部長 専門職として1年をかけて仕事を覚えて、次は出来ないとすると、学校図書館の運営、また業務に関して、非常に難しい、これは検討を重ね、良い方法を考えたい。

三 市内失業率改善について

質問 本市の失業対策を何う。

答弁 上間経済部長 緊急雇用対策本部を開催、その中で具体的なプランを策定し、早急に実施に移していきたい。

質問 失業者の為に本市独自の能力開発技術指導学校を開設出来ないか。

答弁 上間経済部長 今後、想定された短期、中長期的な施策と併せて検討したい。

四 市業務委託者の選定と採用の内容について

質問 本市の業務委託業者の選定方法と採用方法及びうるま市民を何人採用しているか。

答弁 登川市民部長 市民課、納税課、環境課の一部が公募型プロポーザル方式で業者選定、職員25名全員がうるま市民。

五 盛岡市との友好姉妹都市について

質問 盛岡市とうるま市と友好調印式が7月31日に決まり、今後の本市の発展を期待しているが、その詳細を伺いたい。

答弁 当間企画部長 両市が災害時における相互応援協定の締結をされた。今後はこれら交流を充実させながら、児童生徒の交流、人的交流等についても検討したい。



- 一 児童館建設等について
- 二 与勝中学校体育館及び運動場整備について
- 三 乳幼児医療費助成費の自動償還払いについて
- 四 勝連総合グラウンド整備について

下門 勝

一 児童館建設等について

質問 児童館整備は勝連地区の児童生徒や近隣の饒辺、与那城、西原を含め、より多くの市民が利用しやすい環境整備が望まれている。今回、児童館整備をする場所はどこか何う。

答弁 根路銘福祉部長 勝連平敷屋地区に決定している。

質問 私は報告書でも懸念されているが、勝連地区の外縁部地域ではなく、勝連の中心地で利便性も高く、市民体育館等の公共施設との連携が図りやすく、駐車スペースも十分確保出来る。報告書で報告されている場所へ児童館建設をする事が、勝連地区の福祉向上に大きく寄与するものと強く感じており、今回の整備方針では、今後の様々な計画に対して何らかの影響が出るのではないかと懸念するが、当局も複合的な判断での決断であったと思うので、唯一児童館の無い勝連地区への建設である。今後の運営等も含め、しっかりとバツクアップして頂き、その他の地区についても早期に児童福祉拠点を早期に整備して頂く様、お願いしてお

答弁 根路銘福祉部長 平安名地区に関して公共施設利用を検討する中で優先的に活用出来る様、強く要望していく。勝連地区の子供達に喜ばれる児童館づくりに努めたい。

二 与勝中学校体育館及び運動場整備について

質問 整備計画について何う。

答弁 照屋教育部長 体育館は老朽化が著しく早期に改築する必要があると考えている。運動場は一部水はけが悪く、早急に対策を講じたい。

三 乳幼児医療費助成費の自動償還払いについて

質問 乳幼児医療費助成費(子ども医療費助成)の自動償還払いについて、平成19年3月定例会の一般質問で提案してきた。そろそろ芽出しが出来てもよい時期と思うが、進捗状況と導入時期について何う。

答弁 根路銘福祉部長 県内の市及び県担当を含め勉強会を開催して、課題等の検討を行い、次年度からの導入に向け調整を行っていく予定。

四 勝連総合グラウンド整備について

質問 グラウンドの全面的な土入れ替えと、管理棟の補修整備について何う。

答弁 照屋教育部長 全体的な土入れ替え整備は厳しいが、今後事業調整し、補修整備を実施していきたい。

※他に「勝連地区の公園整備について」うるま市地域防災計画及び沖縄県地域防災計画について「一括交付金について」を質問しました。



一 行政懇談会について
 二 読書環境の整備について
 三 「ふれあいの翼」事業について
 四 「うるま市一般廃棄物処理基本計画」後期見直し事業について
 五 県道33号線塩屋地内植栽について

田仲 康和

一 行政懇談会について
 質問 地域行政懇談会開催の目的と成果は。

答弁 当問企画部長 目的は、市政の現状や施策を市民に知らせ、市民からの要望・提言等を市政に反映させ市民との信頼関係を形成する。成果は地域から80名余の住民が参加し、提言や要望等、活発な意見交換ができた。

質問 地域の要望に今後どう応えるか。
 答弁 当問企画部長 地域の切実な意見であり、庁議メンバーを始め所管する部署で十分検討したい。

質問 市内低地帯の確認状況は。
 答弁 喜納総務部長 津波対策緊急事業では、低地帯の自治会との協議を踏まえ、住民が安全かつ迅速に避難できるよう、緊急一時避難場所や避難路の基本調査に基づき、海拔表示や整備を実施する。

二 読書環境の整備について
 質問 「子ども読書の日」法制定に至った時代背景は。

答弁 照屋教育部長 様々なメディアの発達、普及や生活環境の変化により、読書離れが指摘され、国を挙げて支援するため法律が公布された。

質問 市内朝読書の普及と一人あたりの読書冊数は。
 答弁 仲田指導部長 朝読書の状況は、市内全小学校で取り組みがされている。読書冊数は小学校平均136冊、中学校平均35冊で県平均より

質問 移動図書館についての議論は、少しい状況にある。
 答弁 照屋教育部長 図書館から遠

隔地にある地域や交通弱者にとつての必要性は高く、実施計画の要請に向け関係部局と調整したい。

三 「ふれあいの翼」事業について
 質問 ふれあいの翼事業について、行政側の評価を伺う。

答弁 照屋教育部長 市内はもとより県内外で活躍する人材育成に貢献したものと高く評価している。

質問 ふれあいの翼事業の今後の展開と式典の計画は。
 答弁 照屋教育部長 ふれあいの翼実行委員会を開催し、今後の対応策について協議したい。

四 「うるま市一般廃棄物処理基本計画」後期見直し事業について
 質問 うるま市の一人あたりのごみ排出量は何位か。
 答弁 登川市民部長 人口10万人以上50万人未満の部において6位である。

質問 6位になった原因は。
 答弁 登川市民部長 特に可燃ごみの増加が原因と推察する。

質問 一人あたりのごみ排出量は、15・4グラム減っているのに6位に順位を下げた。市が一位に返り咲くための取り組みは。
 答弁 登川市民部長 結果を真摯に受け止め、ごみ減量に向け一般廃棄物処理基本計画の後期見直しの中で検討したい。

五 県道33号線塩屋地内植栽について
 質問 植栽された琉球松の枯れ木が放置されているが今後の対応は。
 答弁 久田建設部長 立ち枯れの調査を行い対策を検討する。

一 表彰について
 質問 ①表彰時期の改正について、規則で表彰は随時になっている。定期日に表彰時期の改正が出来るか伺う。

答弁 当問企画部長 他市では毎年表彰を行っている。調査を行い検討する。

質問 ②沖縄県表彰規則による市長推薦について、規則で市長は県知事に表彰する事が出来るとある。今後の推薦方針を伺う。

答弁 当問企画部長 沖縄県功労者として県政発展や県民福祉向上の貢献度について、関係団体にも十分調査検討を図る様依頼する。

二 国民健康保険について
 質問 ①臓器提供意思表示記載について、被保険者証に臓器提供意思表示記載欄がある。プライバシー保護の処置について伺う。

答弁 登川市民部長 現在のカード式には、保護シールを貼れる様、交付時に保護シールを提供している。

質問 ②国民健康保険被保険者証の見直しについて、被保険者の利便性や負担等を考えた場合、耐久性のある硬質プラスチックカードの被保険者証が望ましいと思うが、その見直しを検討出来るか伺う。

答弁 登川市民部長 ラミネート以外の耐久性のある材質等についても検討していく。



一 表彰について
 二 国民健康保険について
 三 障がい者雇用促進について
 四 土地開発公社について

幸地 政和

三 障がい者雇用促進について
 質問 担当部署が5年間取り組んできた障がい者雇用・就労支援の実績と評価について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 一般就労につながった利用者は15人。障がい者雇用率制度の啓発や雇用の場における障がい者の人権擁護・職場環境の改善、ハローワークとの連携強化については評価している。これまでの実績・評価・課題を踏まえ、第二次うるま市障がい者福祉計画の就労支援施策の強化や充実に努めていく。

質問 民間企業に対する障がい者雇用助成金制度の施策について。
 答弁 根路銘福祉部長 職場環境の整備について、職場の理解や状況に合わせた声が高く、経済部や市内団体と連携して改善を図っていく。

四 土地開発公社について
 質問 今後の事業展開と事業継続について、公有地取得事業・土地造成事業の実績がない。今後の事業計画と事業継続の見通しを伺う。

答弁 久田建設部長 地価の値下がりが続く経済状況では、先行して用地を取得するメリットがなく、公有地取得事業が立てられない現状である。

質問 うるま市土地開発公社の解散について所見を伺う。

答弁 久田建設部長 解散の手続きや全国的な事例を調査して、解散について検討する。



一 側溝整備について
二 自治公民館建設補助金について

高江洲 賢治

一 側溝整備について

質問 うるま市江洲90-4から124-2の間の側溝整備について、江洲自治会から要請が出されていると思うが、その後の状況を伺う。

答弁 久田建設部長 江洲90-4から124-2の道路については市道110号線と市道江洲6-48号線を結ぶ、延長として約100mで、集落内の生活道路である。片側は宅地があり、側溝は整備されているが、反対側は雑木が生い茂った土地である事から側溝は整備されていない。しかしそこには集水桝が設置されている事から道路の雨水処理については特に問題ないものと考ええる。今後この土地の建物等が新築された場合において検討していきたい。

二 自治公民館建設補助金について

質問 自治公民館建設については、各自治会とも建設委員会を立ち上げ、建設資金づくりに苦勞している。建設資金として国の補助メニューや市の補助金、そして十数年前から区民から建設資金として積み立てをした積立金を合わせても厳しいものがあ

り、今回自治公民館連絡協議会から陳情があった。自治公民館建設補助金の増額は出来ないか伺う。

答弁 登川市民部長 平成28年度までに8自治会が公民館の改築を予定しており、今後も老朽化に伴い、多くの自治公民館の改築が想定されるので、補助金の増額については大変厳しいものがあり、ご理解願いたい。
質問 増額は厳しいという事だが、各自治会とも資金繰りに大分困っている。建設資金の増額は出来ないか、市長の見解を伺う。

答弁 島袋市長 危機管理体制の緊急時に公民館が地域の避難場所、あるいは仮の避難場所として重々活用可能という事からすると、今後も市は各自治会には設備、あるいは集集場の整備等々については、助成をしていく必要があると考えている。そういう意味でこれからの様な方策があるのか、関係部署、庁議に諮り検討して、各自治会の負担を出来るだけ軽減する様な手法を研究、検討させて頂きたい。



一 一括交付金について

照屋 義正

一 一括交付金について

質問 ①赤野地域ヌーリ川沿い桜並木の擁壁の嵩上げについて、日曜日や関係者の方々が桜並木の草刈りを行ったが、護岸が3メートル位立ち上がっていて、命綱を使って管理をしているので、非常に危ない。間知ブロックで50センチ位、嵩上げをしてもらって道路と同じ高さにする。そして今のフェンスを排水沿いに移動する事によって管理がしやすくなって、素晴らしい桜並木が形成されると考えるが、所見を伺う。

答弁 久田建設部長 河川管理上の面から、のり面部分は河川断面の一部となっており、その確保からも重要なもので、擁壁の設置に関しては厳しい。
質問 地域の方々に聞くと、間知ブロックで施工後は、氾濫した事は無く、嵩上げをした方が流出計数も上がると思う。観光という面からも一括交付金を適用出来ると思うが。

答弁 島袋市長 市民協働のまちづくりという事で、大変いい着眼点と思う。総合的に調整し、安全かつ将来的にも市民の財産としてヌーリ川

が生きていく様検討したい。

質問 ②「浜千鳥の歌碑」へ通ずる道路が、未舗装なので、他市町村からの歌碑めぐりの方々が、うるま市は舗装も出来ないのかと意見をしている。維持管理事業の予算が厳しければ、今回の一括交付金で舗装が可能ではないか伺う。

答弁 久田建設部長 具志川自治会から舗装要請もあるが、整備延長も長く、多額の費用を要する事等、舗装は厳しい。しかし市道認定されている約300mの区間は検討する。

質問 ③勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業については、道路を超えて与勝病院と勝連城跡の小高い所まで入れて、鳥瞰図にある様な曲輪、これは資料館としても使えると思う。勝連城が復元出来るまでの間、相乗効果で素晴らしいまちづくりの展開になると思うので、計画の検討をお願いしたいが。

答弁 瀬高都市計画部長 この事業は多くの部署に関連するので、プロジェクトチームの立ち上げを今、検討している。議員提言についても、仮称ではあるが、文化部会で実現可能性の有無について検討していく。



喜屋武正伸

一 保育行政について
二 道路行政について
三 農道の整備について

一 保育行政について
質問 直近の待機児童数について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 4月1日現在で102名になっている。

質問 この数字について、当局はどのように考えているのか、所見を伺う。

答弁 根路銘福祉部長 現時点では多いと認識をしている。

質問 うるま市きらめき保育事業という一括交付金を利用した事業が行われるが、具体的内容について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 これまでの認可外保育施設に対する補助事業は、県補助を伴う分と市の単独補助分を総括して、新すこやか保育事業として実施してきた。今回、一括交付金を活用する事について、この事業のうち、県補助を伴う分については、従来通り新すこやか保育事業の名称としているが、市の単独事業補助において、教材についてはきらめき保育事業に名称を変えて、事業の区分をしたところである。また今回、新規に行事費を追加して認可外保育施設への支援を拡充している。財源は一括交付金で、県が10分の9、市が10分の1の補助割合である。

質問 保育行政の今後の一括交付金活用について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 認可外の有資格者常勤保育士の人件費補助や施設修繕費補助、看護師、または保健師を配置する法人園への正規職員の人件費補助、ゼロ歳児保育を実施する認可外保育施設への保育士人件費補助、正規雇用職員に対する法人園の人件費補助の5件を検討したいと考えており、なお具体的な対象要件及び所要額については現在調整中である。

二 道路行政について
質問 前原地内の排水路のない道路整備について伺う。

答弁 久田建設部長 全体的な整備については年次の予算の中で検討し、一部簡易的な対策は自治会長と調整していきたい。

質問 高江洲地内生活道路の整備について伺う。

答弁 久田建設部長 水道工事による沈下と思う。自治会の協力を得ながら対応したい。

三 農道の整備について
質問 高江洲地区の農道舗装整備について伺う。

答弁 島袋経済部長 当該地域は宅地化が進み、地域住民の生活道路として利用され、交通量も増えている。今年度から創出された農業体質基盤整備事業で未舗装農道については舗装工事を実施したい。

※他に具志川運動公園について質問いたしました。



名嘉真宜徳

一 水道局の漏水対策について
二 生涯学習センターの建設について
三 統合庁舎建設について

一 水道局の漏水対策について
質問 ①うるま市の漏水量と損害額について伺う。

答弁 安慶名水道部長 平成23年度の漏水量は決算見込みで128万7千390立法メートル、損害額は約1億3千820万円である。

質問 ②年間でおよそ1億3千万円の膨大な水漏れについて、当局はどのように受け止めているのか伺う。

答弁 安慶名水道部長 この様な状況を重く受け止め、要因を検証し、早急な漏水対策を取り組むべく、内部職員を中心とした漏水対策検討委員会を立ち上げていく。

質問 ③内部職員を中心とした漏水対策検討委員会の中に、外部から見識のある方々を、何名か入れて集中的にやってはどうか。

答弁 安慶名水道部長 他の事業体の情報を収集しながら検討したい。

二 生涯学習センターの建設について
質問 建設計画について、生涯学習センターをつくる際に、常設展示場を設置してほしいという声があるが、当局の見解を伺う。

答弁 照屋教育部長 生涯学習センターは、市民の生涯学習を支援する拠点施設として、市民芸術劇場の隣

接地に建設する事で、現在事業を進めている。面積約3千200平方メートル、約100台収容の駐車場。主な施設としてはホール、研修室、創作活動室、団体室等が計画されている。またラーニングコモンズと呼ばれる共同学習スペースも配置予定である。質問の展示場についてはラーニングコモンズやロビー等を利用した一定程度の展示は可能である。

三 統合庁舎建設について
質問 私は今進めている建設計画は中止をして、最初からやり直すべきだと考えている。その理由として、行政の手法に大きな問題がある。統合庁舎基本構想の中身がずさんである。①ライフサイクルコストの比較。②庁舎の跡利用の計画がない。③建設の必要性の理由が脆弱である。市長が今まで進めてきた、これが本当に適正であるのか、市長に伺う。

答弁 島袋市長 合併後10年後の新市のスタートに向けた財政基盤の構築とワンストップサービス、11万市民の行政サービスの向上、これを図るうえから、これからの新しいまちづくりを進めていく体制を固めていく。



宮里 朝盛

- 一 優良農機具等補助制度の復活について
- 二 うるま市総合計画・後期基本計画の策定について
- 三 第二次うるま市障がい者福祉計画について

一 優良農機具等補助制度の復活について
質問 補助金制度の廃止の理由を伺う。

答弁 島袋経済部長 補助事業の在り方を色々検討してきたが、より多くの農家を対象にした別の支援策を検討した方が妥当である事から平成21年度での廃止になった。

質問 補助制度の復活は検討出来ないか。

答弁 島袋経済部長 農業従事者の新規就農も考える必要がある、再度検討したい。

二 うるま市総合計画・後期基本計画の策定について

質問 ①沖縄21世紀ビジョンと新たな沖縄振興の展開について伺う。

答弁 当問企画部長 沖縄振興一括交付金がスタートする節目の年、本市においても地域ニーズを踏まえた政策立案と実行力が求められる。その事を踏まえ、一括交付金は本市の課題である所得の向上、失業率の改善を含め、沖縄振興に資する事業を活用し、本市の地域活性化に十二分に生かしていく必要があると考える。また沖縄振興制度では国際物流拠点産業集積地域や情報通信産業振興地域等があり、制度を活用した地域振興への取り組みも重要と考える。

質問 ②新市建設計画の推進について伺う。

答弁 当問企画部長 合併した新市の合併50年間のまちづくり計画、その中で合併後10年間の新市建設の基本方針、新市の主要施策、公共的施設の適正配置と整備、財政計画についてまとめたもので、うるま市総合計画に引き継がれている。

質問 ③農畜水産物の生産振興と基盤整備について伺う。

答弁 島袋経済部長 農業振興地域整備計画の見直しは平成25年度の10月を目途に取り組んでいきたい。また産業振興へ向けて意欲ある担い手の育成と農地の確保や有効利用が必要であり、耕作放棄地対策事業を活用して耕作放棄地を解消し、新規就農者や面積をふやしたい意欲ある農家へ農地の集積促進を図り効果的営農、また生産性、収益性の高い農業の推進が必要と考える。

質問 第二次うるま市障がい者福祉計画について

質問 第二次うるま市障がい者福祉計画の改正点について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 障がい者の定義が見直され、発達障害、心身機能の障害が追加、障がい者自立支援法では、発達障害が法の対象になり、市町村への基幹相談センターの設置、自立支援協議会の法定化、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の創設と障がい児支援の強化等が主な改正点となった。



徳田 政信

- 一 生涯学習センター新築事業について
- 二 農業振興について
- 三 農水産業振興戦略拠点施設整備事業について

一 生涯学習センター新築事業について

質問 ①建設場所について、またそこが何名の地権者になっているのか、説明頂きたい。②事業内容について伺う。③供用開始時期について伺う。

答弁 照屋教育部長 生涯学習センターは市民の多様な生涯学習を支援する施設として、市民芸術劇場の隣接地に建設する事で、現在事業を進めている。平成24年度用地取得、実施設計、平成25年度建築工事、平成26年度供用開始の事業計画となっている。施設概要については、用地取得面積が約7千㎡、駐車場は約100台、ホール、研修室、音楽室等となっている。用地取得に係る地権者は7人である。

二 農業振興について

質問 一括交付金の活用について、農業関係の事業が殆どない。農業関係の事業についてどの様なものが考えられるか。

答弁 島袋経済部長 一括交付金を活用した事業については、農水産物直売所と複合施設の事業を進めている。

質問 農業関係で一括交付金の活用

による事業は非常に難しいと受け止められるが、鉄骨ハウス等については、今後検討すべき沖縄農業振興の意味から、導入に向けて県と調整をやって頂きたい。また電照栽培の電球についてLEDの事業が出来ないか提案するが、当局の所見を伺う。

答弁 島袋経済部長 提言のあった鉄骨ハウス施設整備、LEDの事業については、農家の大きな要望があるので、県に対して積極的に意見を出していきたいと考えている。

三 農水産業振興戦略拠点施設整備事業について

質問 これまで私は、この件について訴えてきた事業である。事業計画はどういう進捗状況になっているか伺う。

答弁 島袋経済部長 農水産物直売所を主な施設として、平成23年度において、方向性や立地要件及び事業の可能性を検証する為のマーケティング調査をしている。一括交付金での事業採択に向けて取り組んでいる。事業化が決定したら、さらに踏み込んだ事業計画を策定していきたい。



一 生活環境整備について
二 観光振興について

平良 榮順

一 生活環境整備について

質問 天願川天願区茶木根橋上流右岸側管理用道路の整備について伺う。

答弁 久田建設部長 天願区から県の方に整備要請が出ている。早急に現場調査を行い、護岸や管理道路の安全性、必要性、優先順位等を検証し、整備に向けて検討すると聞いている。

質問 両側ののり面の整備について伺う。

答弁 久田建設部長 両護岸、管理道路の整備に加えて、危険箇所もあるとの事で、土砂の浚渫工事等の要請を行う。

質問 天願橋上流右岸側の管理道路の整備計画があるか伺う。

答弁 久田建設部長 現在は無い、今後、茶木根橋付近の整備と併せて可能か検討するとの事。

質問 天願橋下流の整備について伺う。

答弁 久田建設部長 米軍施設セキユリテイ等の問題がある為、管理道路は、左岸側はフェンスまで、右岸側の整備は行わない。

質問 管理道路を下流から中流、上流まで開通させてもらいたい。

答弁 久田建設部長 米軍のセキユリテイ等の問題から非常に難しい。

質問 みどり町2丁目天願川管理道路決壊場所の整備について伺う。

答弁 久田建設部長 中部土木事務所に早急な対策をお願いしている。

質問 天願地内道路、排水の整備に

二 観光振興について

質問 久田建設部長 この道路は米軍から復帰後、県企業局浄水場への管理道路が、地主に返還された道路である。地権者の同意を得る事が出来たら事業実施を検討する。

質問 海中道路両脇干潟を利用した蛤、アサリの放流蓄養等が出来ないか伺う。

答弁 上間経済部参事 大変難しいアイデアである。今後関係機関との意見交換や調整も踏まえて研究したい。

質問 石川ドームの駐車場整備について伺う。

答弁 上間経済部参事 現在は178台分の駐車スペースがある。今年度一括交付金事業を活用し、ドーム西側の高架下を整備予定しており、168台の確保を図る。

質問 現駐車場の東側を駐車場として購入出来ないか伺う。

答弁 上間経済部参事 今年度の駐車場整備が一括交付金で可能なら、東側についても整備を進める。

質問 常設のチケット販売所、売店を整備出来ないか伺う。

答弁 上間経済部参事 観光資源施設の魅力アップ周辺環境整備と位置付け、整備に向けて検討する。

※他にキャンピングコートニー空調室外機から発生する騒音、レアメタル精錬工場のうるま市への誘致について質問しました。



一 うるま市総合計画・後期基本計画について
二 一括交付金事業計画について

仲程 孝

一 うるま市総合計画・後期基本計画について

質問 スクールカウンセリングの現状と課題について伺う。

答弁 仲田指導部長 小学校6校、中学校8校、彩橋小中学校1校の計15校にスクールカウンセラーが配置されている。多様な相談に対応する必要性が生じている。

質問 市内において今後、臨床心理士等の資格取得者を配置する考えがあるか。

答弁 仲田指導部長 うるま市独自の配置は予定していないが、今後、必要がある場合は検討したい。

質問 文化財案内人要請事業について、地域文化財を正しく継承していくための事業として具体的な対策を伺う。

答弁 照屋教育部長 今年度は文化課の事業として、文化財案内人養成講座を11月に開催する予定、史跡ガイドの会とも連携しながら、文化財ガイドの支援・育成に努めたい。

二 一括交付金事業計画について

質問 街角コンタクトセンター設置運営事業の概要について伺う。

答弁 上間経済部参事 市内の求職者の支援サービス向上を目指し、設置場所は石川庁舎1階部分を予定している。

質問 相談員4人配置は常駐する体制なのか伺う。

答弁 上間経済部参事 原則4人以上という事で想定している。全て常勤者という条件で行いたい。全て特産品販路拡大支援事業の概

要について伺う。

答弁 上間経済部参事 実際に物産展等を開催、マーケティング調査等を実施し、うるま市の観光全般の周知も図りながら観光客数の増加や関連産業の活性化を図ることを大きな目的としている。

質問 常設販売について具体的な方策は。

答弁 上間経済部参事 県外大手百貨店や、大阪よしもとランド花月の観光客等の集客力を利用し、常設販売展開を図り、安定的な販路を確保したい。

質問 6次産業化、地域ブランド化に向けた環境基盤の整備を推進する元気な農水産業プロジェクトの概要とは。

答弁 上間経済部参事 概要として、市内で生産された農水産物、特産品加工品等の販売及びレストラン等を備えた施設等を整備する計画である。

質問 児童健全育成プロジェクトについて、専門支援員を具体的にどのように配置していくのか伺う。

答弁 仲田指導部長 拠点校を中心に各学校へ要請があれば派遣をしていく。

質問 拠点校の認定はどのように決めているのか。

答弁 仲田指導部長 ロケーション、様々な問題、複合的に考えて決定している。

※他に『教育研究所の活動充実』『ファミリースポーツセンターの現状・課題』について質問しました。



一 いちみち伊志川じんぶん館について
二 道路整備について
三 スポーツ少年団への補助について
四 ワクチン助成について
五 幼稚園問題について
六 沖繩本土復帰40周年について

又吉 法尚



一 母子家庭生活支援について
二 母子家庭生活支援モデル事業の概要、利用対象者等を伺う。
三 彩橋小中学校開校について
四 公営住宅について
五 住環境整備について

奥田 修

一 いちみち伊志川じんぶん館について
①敷地内の駐車場の拡大について、畑の跡地を整備して駐車場として活用出来ないか伺う。

②隣接する豚舎の悪臭問題について伺う。

③島袋経済部長 担当課では清掃の回数を増やす様にし、悪臭緩和材を使用して悪臭緩和に努める様指導をしている。

二 道路整備について
①具志川環状線(県道224号線)の開通に伴う各交差点の安全確保、開通開始予定日、信号機設置市民への周知徹底はどの様に考えるか伺う。

②久田建設部長 開通、供用開始は平成24年10月末を予定し、信号機の設置及び道路照明灯の設置を要請している。市民への周知として供用開始の2、3週間前には供用開始の区間、供用開始日、略図等を記載した看板を設置し、周知を図っていく。

③県道8号線の歩行者用信号機設置及び交差点停止線について伺う。

④登川市民部長 県道8号線の交差点の信号機設置について関係機関と協議の上、要請していきたい。歩行者用信号機設置についても要請をしていく。

⑤スポーツ少年団への補助について
①派遣費の助成金が底をついた後に県内の大会で優勝、準優勝した個人、団体に対して平等な派遣費助成等が出るのか伺う。

②照屋教育部長 派遣補助金要綱に基づく該当者には助成費の交付がなされる様、今年度は予算確保に向け検討していく。

③監督、責任者に対して何らかの手当てが支給可能か伺う。

④照屋教育部長 手当の支給については厳しい。

⑤ワクチン助成について
①おたふく風邪、水ぼうそうのワクチンの公費助成が出来ないか伺う。

②登川市民部長 ワクチン接種を公費助成により行う事は有効だと考慮され、実施に向けて前向きに検討していく。

③幼稚園問題について
④今回6千700円から7千000円に上がったうるま市の臨時職員の日当をせめて7千300円まで上げられないか伺う。

⑤仲田指導部長 いい人材を確保する為の財政の許す範囲内で臨時職員等の待遇改善に努めていく。

⑥沖繩本土復帰40周年について
⑦基地を抱えるうるま市として今後の基地行政の在り方について、市長の見解を伺う。

⑧島袋市長 私の米軍基地に対する考え方は新たな基地機能の強化には反対の立場である。米軍施設についても、整理縮小に努める必要があると考える。

⑨母子家庭生活支援について
⑩県の「母子家庭生活支援モデル事業」の概要、利用対象者等を伺う。

⑪根路銘福祉部長 保護が必要なものがない場合もある事から、民間アパルトを借り上げ、自立支援を行う。原則1年間で、総合的な自立支援を行う事業である。

⑫根路銘福祉部長 保護支援を本市の対応を伺う。

⑬根路銘福祉部長 保護支援を要する場合は、県の相談所に一時保護や、施設への入所調整を行う。

⑭根路銘福祉部長 要請を受け度であり、市も必要性を感じる。今年度の実施計画に要望を上げる予定。県の実施計画に要請を上げる予定。今年度の見解は、

⑮根路銘福祉部長 ニーズに対応した事業実施を期待している。市も県の事業を参考に検討。

⑯彩橋小中学校開校について
⑰学習風景と今後の取り組みは、仲田指導部長 学習規律が保たれ、発表や皆で歌っている姿は感動的、小中学校の優位性を生かし、喜んでいきたくなる学校づくりに取り組みたい。

⑱根路銘指導部参事 市内全域から通える特別認定制度等の導入を準備中。

⑲通学路の安全確保は、

⑳登川市民部長 スクールゾーン表示等横断歩道線の修復は警察と調整検討する。

㉑後期実施計画(鳥しよ地域)は、

㉒蔵根指導部参事 地域の意見を要望をまとめ、今年度中に方針を制定、地域振興につなげる。要請、提言等は教育委員会プロジェクトチームで受付。

㉓公営住宅について
⑳与勝団地、鳥しよ地域公営団地の入居状況は、

㉔久田建設部長 全て入居している。

㉕マスタープランと未執行、需要戸数は、

㉖久田建設部長 住宅供給目標は、ほぼ達成。25年度はプランの見直し予定、鳥しよ地域を含め、市内全域の需要見直し調査を行い、新たな供給目標を検討。

㉗住環境整備について
⑳浜比嘉区要請事項、①市道615号線道路路整備取組み状況、②市道614号線は、③農道4093号線道路舗装排水路設置は、

㉘久田建設部長 ①必要性を検討した結果、②要請を行っていないが、採択に至っていない。③必要事項を、現在未処理だが、建設部と協議調整し、計画に載せ整備出来る様にしたい。

㉙島袋経済部長 護岸、防波堤、船揚場等、25年度から事業着手する計画。

㉚615号線は、議論を交わしていく。614号線は住環境として評価も高く、早期に整備すべきと思うが、

㉛久田建設部長 早期の事業採択に向けて取り組んでいきたい。

㉜蔵根指導部参事 地域の意見を要望をまとめ、今年度中に方針を制定、地域振興につなげる。要請、提言等は教育委員会プロジェクトチームで受付。

㉝与勝団地、鳥しよ地域公営団地の入居状況は、

㉞久田建設部長 全て入居している。

㉟マスタープランと未執行、需要戸数は、

㊱久田建設部長 住宅供給目標は、ほぼ達成。25年度はプランの見直し予定、鳥しよ地域を含め、市内全域の需要見直し調査を行い、新たな供給目標を検討。

㊲住環境整備について
㊳浜比嘉区要請事項、①市道615号線道路路整備取組み状況、②市道614号線は、③農道4093号線道路舗装排水路設置は、

㊴久田建設部長 ①必要性を検討した結果、②要請を行っていないが、採択に至っていない。③必要事項を、現在未処理だが、建設部と協議調整し、計画に載せ整備出来る様にしたい。

平成24年5月第68回うるま市議会（臨時会）議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
承認第1号	専決処分の承認について (うるま市企業立地促進条例の一部を改正する条例)	市長	5月21日	承認
承認第2号	専決処分の承認について (うるま市固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例)	〃	〃	〃
承認第3号	専決処分の承認について (うるま市税条例の一部を改正する条例)	〃	〃	〃
承認第4号	専決処分の承認について (うるま市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	〃	〃	〃
議案第29号	平成24年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (補正額:1,819,629千円 補正後予算:19,357,168千円)	〃	〃	原案可決
議案第30号	教育委員会委員の任命について(横田 清美)	〃	〃	同意
報 告	議会運営委員会委員の選任について (委員:兼本 光治) * (新委員長:中村 正人)	議長	〃	選任 (1人)

平成24年6月第69回うるま市議会（定例会）議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
報告第4号	平成23年度うるま市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について専決処分の承認について	市長	6月18日	報告
報告第5号	平成23年度うるま市公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について専決処分の承認について	〃	〃	〃
報告第6号	平成23年度うるま市土地開発公社事業報告及び決算報告について	〃	〃	〃
報告第7号	平成24年度うるま市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画の報告について	〃	〃	〃
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	7月3日	適任
議案第31号	平成24年度うるま市一般会計補正予算(第1号) (補正額:346,921千円 補正後予算:45,321,814千円)	〃	〃	原案可決
議案第32号	うるま市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例 (字区の修正及び消防署の管轄区域の見直しに伴う当該条例の改正)	〃	〃	〃
議案第33号	友好都市の提携について(岩手県盛岡市)	〃	〃	〃
議案第34号	あらたに生じた土地の確認について(中城湾港区域内道路用地) (公有水面埋立竣工認可による土地 24,771.66㎡の確認)	〃	〃	〃
議案第35号	字の区域の変更について(中城湾港区域内道路用地) (公有水面埋立竣工認可による土地 24,771.66㎡を勝連南風原へ編入)	〃	〃	〃
議案第36号	平敷屋漁港区域内公有水面埋立について (埋立について、異議のない旨の答申のため)	〃	〃	〃
議案第37号	物品の取得について(水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型) (契約金額:59,535,000円)	〃	〃	〃
議案第38号	伊波小学校仮設校舎及び伊波幼稚園仮設園舎建設工事(建築)請負契約について(契約金額:167,769,000円)	〃	〃	〃
議案第39号	具志川中学校屋内運動場増改築工事(建築)請負契約について(契約金額:371,385,000円)	〃	〃	〃
議案第40号	彩橋小中学校屋内運動場・水泳プール増改築工事(建築)請負契約について(契約金額:474,390,000円)	〃	〃	〃
議案第41号	うるま市交通安全対策会議条例の一部を改正する条例 (日本道路公団の解散に伴う当該条例の改正)	〃	〃	〃
議案第42号	うるま市母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例 (沖縄県母子及び父子家庭等医療費助成事業実施要綱の一部改正に伴う当該条例の改正)	〃	〃	〃
議案第43号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例 (うるま市環境調和型まちづくり推進指導協議会及びうるま市中小企業振興審議会を設置するための当該条例の改正)	〃	〃	〃
議案第44号	外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 (外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴う当該条例の改正)	〃	〃	〃
議案第45号	うるま市火災予防条例の一部を改正する条例 (危険物の規制に関する政令の一部改正に伴う当該条例の改正)	〃	〃	〃
議案第46号	うるま市消防手数料条例の一部を改正する条例 (地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴う当該条例の改正)	〃	〃	〃
発議第6号	「心の健康を守り推進する基本法」の制定に関する意見書	下門勝議員他7人	〃	〃
請願第1号	屋慶名川橋(2基)の改修に関する請願書	森根 タツ子	〃	採択
請願第2号	うるま市統合庁舎基本構想の大幅変更について、全ての手続きを最初からやり直しを求める請願書	伊芸 佑得他5名	〃	不採択
陳情第28号	瓦礫の広域処理の問題点を認識し、沖縄県独自の被災地支援ビジョン策定を求める陳情書	ていんぶあ沖縄未来にいのちをつなぐ会共同代表 山城幸江	〃	採択
陳情第29号	瓦礫の広域処理の問題点を認識し、沖縄県独自の被災地支援ビジョン策定を求める陳情書	新原 理恵	〃	採択(みなし)
陳情第27号	陳情書	畠山 紀和	〃	採択(みなし)
陳情第32号	陳情書	社団法人沖縄県精神障害者福祉会連合会代表 島田 正博	〃	採択

平成24年7月第70回うるま市議会（臨時会）議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
議案第47号	平成24年度うるま市一般会計補正予算(第2号) (補正額:1,015,010千円 補正後予算:46,336,824千円)	市長	7月27日	原案可決

(9月定例議会は、9月12日(水)から開会予定をしております。)